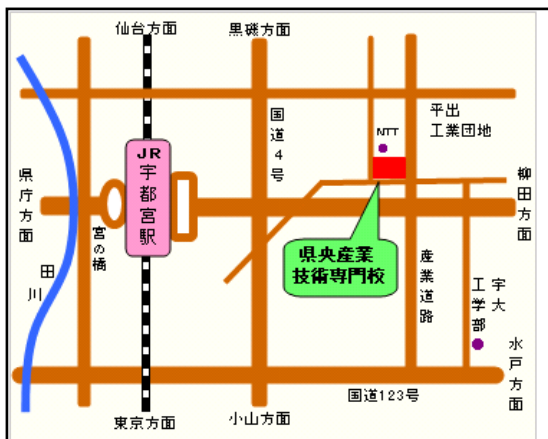


# 介護職員実務者研修科

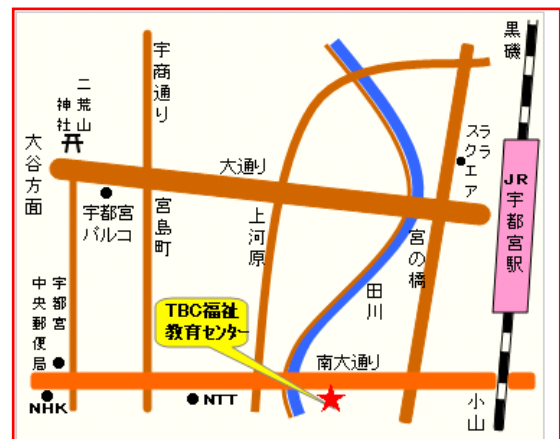
県立県央産業技術専門校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. **定員** 20名（一般離転職者）
3. **訓練期間** 6か月 平成30年7月2日(月)から平成30年12月27日(木)  
 訓練時間 午前9時30分から午後4時30分まで 6時間  
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日とする。実習中はこの限りではありません。
4. **訓練実施場所** 株式会社 TBC 福祉教育センター  
 宇都宮市南大通り2-1-2 TBC 学院ビル 7F（駐車場はありません。）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. **受講料他** 受講料は無料です。但し講習用テキスト代 約14,000円、健康診断料 5,500円、  
 訓練生総合保険料(4,800円+振込手数料)が必要です。  
 消耗品は受講者の負担となります。
7. **募集期間** 平成30年5月1日(火)～5月31日(木)
8. **選考日時** 平成30年6月14日(木) 午前10時からです。  
 受付は午前9時30分から午前9時50分までです。
9. **選考会場** 県央産業技術専門校（本館3階 視聴覚教室）  
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校のグラウンドに駐車してください。)
10. **選考方法** 提出書類及び適性試験(30分、50問)及び面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **その他**
  - ①指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
  - ②選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
  - ③応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予め御了承願います。



(選考会場) 県央産業技術専門校

TEL: 028-689-6380



(訓練実施場所) (株)TBC 福祉教育センター

TEL: 028-651-2171

# 訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	(県央校) 介護職員実務者研修科 (7月コース)	訓練終了後に想定される就職先	老人福祉施設、老人保健施設 訪問介護事業所、障害者施設 病院、通所介護 通所リハビリテーション こども通所サービス
訓練期間	平成30年7月2日～平成30年12月27日 (6ヵ月)		
訓練目標	介護職員実務者研修を修了し、介護事業所において利用者の状態に応じた訪問介護及び施設介護ができる 広い視野を持った即戦力として、介護業務関連への就職を目指す。		
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間
	訓練内容	オリエンテーション 就職支援	オリエンテーション・就職支援 基本的理念の理解、業界研究・ジョブ・カード・履歴書作成・ビジネス スマナー・仕事の現状と理解、企業に関する情報収集・面接指導 企業説明会・企業面接会
安全衛生 実習の理解		介護場面における安全衛生 実技・実習オリエンテーション(服装・持ち物・注意事項等)	6 3
人間の尊厳と自立 人間の尊厳と自立(総括)		人間の多面的な理解と尊厳・自立・自律の支援・人権と尊厳 人間の多面的な理解と尊厳・自立・自律の支援・人権と尊厳	6 6
社会の理解Ⅰ		介護保険制度創設の背景と目的・介護保険制度の基礎的理解・介護保 険制度における専門職の役割	5 6
社会の理解Ⅱ		生活と福祉・社会保障制度・障害者自立支援制度・介護実践にかかわ る諸制度	36
社会の理解Ⅰ・Ⅱ(総括)		介護保険制度創設の背景と目的・介護保険制度の基礎的理解・介護保 険制度における専門職の役割・生活と福祉・社会保障制度・障害者自 立支援制度・介護実践にかかわる諸制度	6
介護の基本Ⅰ		介護福祉士の制度・尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、 介護福祉士の倫理	12
介護の基本Ⅱ		介護を必要とする人の生活の理解と支援・介護実践における連携・介 護における安全の確保とリスクマネジメント・介護福祉士の安全	24
介護の基本Ⅰ・Ⅱ(総括)		介護福祉士の制度・尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、 介護福祉士の倫理・介護を必要とする人の生活の理解と支援・介護実 践における連携・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介 護福祉士の安全	6
コミュニケーション技術		介護におけるコミュニケーション・介護におけるコミュニケーション 技術・介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション・介護 におけるチームのコミュニケーション	10
コミュニケーション技術 (総括)		介護におけるコミュニケーション・介護におけるコミュニケーション 技術・介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション・介護 におけるチームのコミュニケーション	1
生活支援技術Ⅰ		生活支援とICF・居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗の 介護技術の基本・食事の介護技術の基本・入浴・清潔保持の介護技術 の基本・排泄の介護技術の基本・着脱、整容、口腔清潔の介護技術の 基本・家事援助の基本	11
生活支援技術Ⅰ(総括)		生活支援とICF・居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗の 介護技術の基本・食事の介護技術の基本・入浴・清潔保持の介護技術 の基本・排泄の介護技術の基本・着脱、整容、口腔清潔の介護技術の 基本・家事援助の基本	3
生活支援技術Ⅱ		移動・移乗の介護・食事の介護・入浴・清潔保持の介護・排泄の介護・ 着脱、整容、口腔清潔の介護・睡眠の介護・終末期の介護	10
生活支援技術Ⅱ(総括)		移動・移乗の介護・食事の介護・入浴・清潔保持の介護・排泄の介護・ 着脱、整容、口腔清潔の介護・睡眠の介護・終末期の介護	7
介護過程Ⅰ		介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプロ ーチ	20
介護過程Ⅱ		介護職による介護過程の進め方・介護過程の実践的展開・事例に基づ く介護過程の展開	9
介護過程Ⅲ 介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(総括)		利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開 介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプロ ーチ・介護職による介護過程の進め方・介護過程の実践的展開・事例に 基づく介護過程の展開・利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	9 1

訓 練 の 内 容	学 科	発達と老化の理解 I	こころの変化と日常生活への影響・からだの変化と日常生活への影響	12
		発達と老化の理解 II	人間の成長・発達・老年期の発達・成熟と心理・高齢者に多くみられる症状・疾病等	21
		発達と老化の理解 I・II (総括)	こころの変化と日常生活への影響・からだの変化と日常生活への影響・人間の成長・発達・老年期の発達・成熟と心理・高齢者に多くみられる症状・疾病等	6
		認知症の理解 I	認知症ケアの理念と視点・認知症による生活障害、心理・行動の特徴・認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
		認知症の理解 II	医学的側面から見た認知症の理解・認知症の人や家族への支援の実際	24
		認知症の理解 I・II (総括)	認知症ケアの理念と視点・認知症による生活障害、心理・行動の特徴・認知症の人とのかかわり・支援の基本・医学的側面から見た認知症の理解・認知症の人や家族への支援の実際	2
		障害の理解 I	障害者福祉の理念・障害による生活障害、心理・行動の特徴・障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本	8
		障害の理解 II	医学的側面から見た障害の理解・障害児・者への支援の実際	24
		障害の理解 I・II (総括)	障害者福祉の理念・障害による生活障害、心理・行動の特徴・障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本・医学的側面から見た障害の理解・障害児・者への支援の実際	6
		こころとからだのしくみ I	移動・移乗に関連するからだのしくみ・食事に関連するからだのしくみ・入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ・排泄に関連するからだのしくみ・着脱・整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ・睡眠に関連するからだのしくみ	21
		こころとからだのしくみ I (総括)	移動・移乗に関連するからだのしくみ・食事に関連するからだのしくみ・入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ・排泄に関連するからだのしくみ・着脱・整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ・睡眠に関連するからだのしくみ	6
		こころとからだのしくみ II	人間の心理・人体の構造と機能・移動・移乗における観察のポイント・食事における観察のポイント・入浴・清潔保持における観察のポイント・排泄における観察のポイント・着脱・整容・口腔清潔における観察のポイント・睡眠における観察のポイント・終末期における観察のポイント	66
		医療的ケア実施の基礎	医療的ケア・安全な療養生活・清潔保持と感染予防・健康状態の把握	18
		喀痰吸引 (基礎的知識・実施手順)	高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	18
		経管栄養 (基礎的知識・実施手順)	高齢者および障害児・者の経管栄養概論	18
		振り返り・修了評価	振り返り・筆記試験	5
実 技	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	14	
	コミュニケーション技術 (総括)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	5	
	生活支援技術 I	生活支援と ICF・居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗の介護技術の基本・食事の介護技術の基本・入浴・清潔保持の介護技術の基本・排泄の介護技術の基本・着脱・整容、口腔清潔の介護技術の基本・家事援助の基本	13	
	生活支援技術 II	移動・移乗の介護・食事の介護・入浴・清潔保持の介護・排泄の介護・着脱・整容、口腔清潔の介護・睡眠の介護・終末期の介護	32	
	介護過程 I	介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ	5	
	介護過程 II	事例に基づく介護過程の展開①(基本)(応用)	15	
	介護過程 III	事例に基づく介護過程の展開②(基本)(応用)	39	
	介護過程 I・II・III (総括)	介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ・事例に基づく介護過程の展開②(基本)(応用)・事例に基づく介護過程の展開①②(基本)(応用)	5	
	認知症の理解 I・II (総括)	医学的側面から見た認知症の理解・認知症の人や家族への支援の実際	4	
	障害の理解 I	障害者福祉の理念・障害による生活障害、心理・行動の特徴・障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本	4	
	医療的ケア	喀痰吸引のケア実施の手引き・経管栄養のケア実施の手引き・救急蘇生法の手引き	33	
	医療的ケア (総括)	喀痰吸引のケア実施の手引き・経管栄養のケア実施の手引き・救急蘇生法の手引き	7	
施設実習	施設サービス実習・通所サービス実習	12		
訓練時間総合計 693 時間 (学科 505 時間、実技 188 時間)				
機器設備	DVD、対模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、浣腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーパット、口腔模型、アイマスク、調理・食器用具一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他			